

科目名	地理総合	単位数	2単位	実施予定授業数	70時間
-----	------	-----	-----	---------	------

☆学習の到達目標

学習の到達目標	<p>社会的事象について地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解し、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。【知識・技能】</p> <p>(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、学んだ概念を活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明・議論したりする力を養う。【思考力・判断力・表現力】</p> <p>(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、日本や世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。【主体的に学習に取り組む態度】</p>
使用教科書・副教材等	<p>教科書 「高等学校新地理総合」「新詳高等地図」 帝国書院</p> <p>図説 「新編フォトグラフィア地理図説」 とうほう</p> <p>ワークブック 教科書準拠ノート 帝国書院</p>

☆学習計画および評価方法

学期	学習内容	月	学習のねらい(評価規準)		時数
			ア=知識・技能	イ=思考・判断・表現	
第1学期	<p>第1部 地図でとらえる現代社会</p> <p>第1章 地図と地理情報システム</p> <p>第2章 結び付きを深める現代社会</p>	4	<p>第1部 地図でとらえる現代社会</p> <p>地図や地理情報システム、国際社会での地域間の相互関係について、諸資料を活用し、課題を追究・解決したりする活動を通して次の事項を身につけている。</p> <p>ア 地図や地理情報システムの役割や有用性について理解している。また国際社会の役割や相互関係について理解している。【知識・技能】</p> <p>イ 地図や地理情報システム・資料等を用いて、情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけている。【知識・技能】</p> <p>ウ 地図や地理情報システム・資料等を用いて、国際社会の変化や課題について考察し、問いを表現できる。【思考力・判断力・表現力】</p>	イ	23時間
	<p>第2部 国際理解と国際協力</p> <p>第1章 生活文化の多様性と国際理解(※途中まで)</p>	5	<p>エ 国際社会がかかえる課題について主体的に追究し、よりよい社会の実現に寄与する態度を養おうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>第2部 国際理解と国際協力</p> <p>世界各地の生活文化や環境・資源・人口・などの地球的課題について、諸資料を活用し、課題を追究・解決したりする活動を通して次の事項を身につけている。</p> <p>ア 各地の生活文化や地球的課題について理解している。【知識・技能】</p> <p>イ 各地の生活文化や地球的課題について、地図や資料等を用いて、情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけている。【知識・技能】</p> <p>ウ 各地の生活文化や地球的課題について、地図や資料等を用いて考察し、問いを表現できる。【思考力・判断力・表現力】</p> <p>エ 各地の生活文化や地球的課題について主体的に追究し、よりよい社会の実現に寄与する態度を養おうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】</p>	ウ	
<p>【知識・技能】</p> <p>①定期テスト(80%)…用語やその例など基本的な知識についての問題を評価対象とする。</p> <p>②ワークノート(20%)…地理的技能を活用する作業などに取り組む。内容や提出状況を評価の対象にする。</p>					
<p>【思考・判断・表現】</p> <p>①定期テスト(60%)…地理的事象の成因や影響などについて考察する問題や、資料から読解・推理し判断する問題を評価対象とする。</p> <p>②プレゼン・レポート(40%)…地理的事象の成因や影響などについて、具体的な地域の実例などをあげ、レポートやプレゼンテーションを行う。内容や提出状況を評価対象とする。</p>					
<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①振り返り評価(20%)…授業に対する取り組みについての自己評価を評価対象とする。</p> <p>②ワークノート(40%)…内容や提出状況を評価の対象にする。</p> <p>③プレゼン・レポート(40%)…内容や提出状況を評価対象とする。</p>					
<p>【1学期の評価方法】「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点の評価点をつける。なお点数の割合は知40%：思40%：主20%とし、合計点で10段階評定を行う。</p>					

学期	学習内容	月	学習のねらい(評価規準) ア=知識・技能 イ=思考・判断・表現 ウ=主体的に学習に取り組む態度	時数
第2学期	第1章 生活文化の多様性と国際理解 (※1学期の続き) 第2章 地球的課題と国際協力	7	第2部 国際理解と国際協力 世界各地の生活文化や環境・資源・人口・などの地球的課題について、諸資料を活用し、課題を追究・解決したりする活動を通して次の事項を身につけている。 ア 各地の生活文化や地球的課題について理解している。【知識・技能】 イ 各地の生活文化や地球的課題について、地図や資料等を用いて、情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけている。【知識・技能】 ウ 各地の生活文化や地球的課題について、地図や資料等を用いて考察し、問いを表現できる。【思考力・判断力・表現力】 エ 各地の生活文化や地球的課題について主体的に追究し、よりよい社会の実現に寄与する態度を養おうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	30時間
		8		
		9		
		10		
		11		
【知識・技能】 1学期と同様				
【思考・判断・表現】 1学期と同様				
【主体的に学習に取り組む態度】 1学期と同様				
【2学期の評価方法】 1学期と同様				
学期	学習内容	月	学習のねらい(評価規準) ア=知識・技能 イ=思考・判断・表現 ウ=主体的に学習に取り組む態度	時数
第3学期	第3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 第2章 生活圏の調査と展望	12	第3部 持続可能な地域づくりと私たち 日本の自然環境や自然災害、地域が抱える地理的課題について、諸資料を活用し、課題を追究・解決したりする活動を通して次の事項を身につけている。 ア 日本の自然環境や自然災害・地域の抱える課題について理解している。 【知識・技能】 イ 日本の自然環境や自然災害・地域の抱える課題について、地図や資料等を用いて、情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけている。 【知識・技能】 ウ 日本の自然環境や自然災害・地域の抱える課題について、地図や資料等を用いて考察し、問いを表現できる。【思考力・判断力・表現力】 エ 日本の自然環境や自然災害・地域の抱える課題について、主体的に追究し、よりよい社会の実現に寄与する態度を養おうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】	17時間
		1		
		2		
【知識・技能】 1学期と同様				
【思考・判断・表現】 1学期と同様				
【主体的に学習に取り組む態度】 1学期と同様				
【3学期の評価方法】 1学期と同様				
【年間の学習状況の評価方法】「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点の評価点をつけ、ABCの3段階で評価を行う。なお点数の割合は知40%：思40%：主20%とし、合計点で年間の10段階評定および5段階評定を行う。				